

ロジスティクス環境会議
第3回共通基盤整備委員会

2004年7月8日(木)16:00~18:00
(社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 用語集について
- 2) リンク集について
- 3) その他

3. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 用語集について
資料2 : リンク集(案)
参考資料1 : 第2回委員会議事録
参考資料2 : 委員会の活動計画
参考資料3 - 1 : 各委員会の活動概要
参考資料3 - 2 : 環境パフォーマンスについて
参考資料4 : 関連法規の枠組み(例)

以 上

用語集について

<用語解説討論用の掲示板>

この掲示板にて用語解説の検討をして頂きます。

検討メンバーのみ公開になります。

セキュリティ認証をかけておりますので以下のユーザー名とパスワードを入力後、閲覧してください。

ユーザー名 jils

パスワード ov1gj8z1

(注)現在は用語辞典のユーザー & パスワードは同一になっていますが本番の際に変更いたします。

<http://www.sugito.com/cgi-bin/cbbs/cbbs.cgi>

<用語辞典>

一般閲覧用ページ(公開用)

<http://www.sugito.com/cgi-bin/dictionary/prg/search.cgi>

表示しますと、まずはア行を自動表示するように設定しています。

管理者用ページ

セキュリティ認証をかけておりますので以下のユーザーとパスワードを入力後、閲覧してください。

ユーザー jils

パスワード ov1gj8z1

<http://www.sugito.com/cgi-bin/dictionary/adm/admin.cgi>

以 上

大分類	中分類	小分類	URL	
法規制	環境省	<ul style="list-style-type: none"> ・総合環境政策(環境会計、環境報告書、グリーン購入、PRTRなど) ・地球環境・国際環境協力 ・廃棄物・リサイクル対策 ・大気汚染・自動車対策 ・水・土地盤環境の保全 ・保健・化学物質対策 ・自然環境・自然公園 	http://www.env.go.jp/policy/index.html http://www.env.go.jp/earth/index.html http://www.env.go.jp/recycle/index.html http://www.env.go.jp/air/index.html http://www.env.go.jp/water/index.html http://www.env.go.jp/chemi/index.html http://www.env.go.jp/nature/index.html	
	経済産業省	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境対策 ・循環型社会形成 ・環境ビジネス振興 ・化学物質対策 	http://www.meti.go.jp/policy/global_environment/index.html http://www.meti.go.jp/policy/closed_loop/index.html http://www.meti.go.jp/policy/eco_business/index.html http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/index.html	
	国土交通省	<ul style="list-style-type: none"> ・環境政策大綱 ・運輸部門環境対策 ・国土と環境を考える委員会 ・協働・連携の事例 ・自然再生事業 ・建設リサイクル 	http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/envi/epomoc.htm http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kankyuu/index_.html http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kokudo_kankyuu/index.html http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kokudo_kankyuu/ref/index.html http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/shizen_saisei/shizen_saisei.html http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/refrm.htm	
	農林水産省	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業対策室 ・畜産環境対策情報 	http://www.maff.go.jp/eco.htm http://lin.lin.go.jp/maff/frame02.html	
促進策	公募情報	<ul style="list-style-type: none"> ■経済産業省 ■環境省 ■国土交通省 ■農林水産省 ■NEDO 	http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/index.html http://www.env.go.jp/recycle/kenkyu/index.html http://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/index.html http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/kigyoushinkou/yosan/h16pr/bosyuu/16bosyuu-osirase0120.htm http://www.nedo.go.jp/informations/koubo/index.html	
3R関連情報	資源有効利用促進法	<ul style="list-style-type: none"> ○法令関係(経済産業省) ○産業構造審議会(経済産業省) ・業種別リサイクルガイドライン ・品目別リサイクルガイドライン ○取組状況(製品毎)(経済産業省) ○リサイクル等支援措置(経済産業省) 		
	容器包装リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○法令関係(経済産業省) ○分別収集・再商品化実績(環境省) ○実施状況(経済産業省) ○分別収集見込量(環境省) 		
	家電リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○(財)日本容器包装リサイクル協会 ○法令関係(経済産業省) ○施行状況(環境省) ○再商品化実績(経済産業省) ○家電リサイクルホームページ(経済産業省) ○(財)家電製品協会 		
	自動車リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○法令関係(経済産業省) ○(財)自動車リサイクル促進センター 		
	食品リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○法令関係(経済産業省) ○再生利用等実態調査結果(農林水産省) ○関連情報(環境省) ○関連情報(農林水産省) 		
	建設リサイクル	<ul style="list-style-type: none"> ○法令関係(経済産業省) ○施行状況(国土交通省) 		
	バーゼル条約	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルホームページ(国土交通省) ○法令関係(経済産業省) 		

	グリーン購入法	○法令関係(経済産業省) ○関連情報(環境省) ○グリーン購入ネットワーク	
統計		・環境統計集(環境省)	http://www.env.go.jp/doc/toukei/contents/index.html
自治体	北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州	都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村 都道府県、政令指定都市、市町村	
大学	東京大学 東京工業大学 京都大学 東北大学 早稲田大学		
学会	物流学会 環境社会学会 水資源・環境学会 日本機械学会環境工学 環境経済・政策学会 環境法政策学会 日本内分泌攪乱化学物 環境アセスメント学会 日本環境共生学会 環境経営学会 日本環境学会 日本環境毒性学会		http://wwwsoc.nii.ac.jp/jses3/ http://wwwsoc.nii.ac.jp/jawre/ http://www.jsme.or.jp/env/ http://wwwsoc.nii.ac.jp/seeps/ http://www.kankyoho.net/gakkai/ http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsedr/ http://www.jsia.net/ http://www.ja-hes.gr.jp/ http://www.smf.gr.jp/ http://tt.sakura.ne.jp/~jaes/ http://www.intio.or.jp/jset/
企業・経営	環境報告書 エコファンド、投資情報		
サービス	事業者)物流関連サー 荷主)荷主の取組 (グリーン購入など) その他)廃棄物処理業		http://www.cjc.or.jp/index.php
諸団体	公的機関	(財)クリーン・ジャパンセンター(CJC)	http://www.cjc.or.jp/
	新聞社・メディア	■環境新聞社 ■循環経済新聞(株式会社日報) ■日本工業新聞	http://www.kankyo-news.co.jp/kankyo/index.html http://www.nippo.co.jp/jk/ http://www.jij.co.jp/news/eco-page/news/top.nwc
	NPO	樹木・環境ネットワーク協会	http://shu.m78.com/
研究プロジェクト			
メールマガジン			
書籍			

ロジスティクス環境会議

第 2 回共通基盤整備委員会 議事録

・ 日 時：2004年3月15日(月) 15:00～17:00

・ 場 所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・ 出席者：17名

・ 議 案：

- 1) 共通基盤整備委員会の活動内容について
- 2) その他

・ 開 会

定刻、津久井委員長により、開会が宣された。

・ 議事の経過

1. 議 事

津久井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 共通基盤整備委員会の活動内容について【資料2】

津久井委員長より、当委員会は各委員会の活動を支える役割を担っている。まず、ロジスティクスの環境活動に関連する用語の整備をしていきたい。用語については、物流学界を通じてJILSの助成金を活用し、既に対象となる用語のピックアップも始めている。JILSのホームページを活用する予定であり、3月にはデモが出来るような状態にしたい。また、物流企業が環境報告書を積極的に発行できるようにガイドラインの作成等も当委員会の活動として行っていきたい。是非、各メンバーにご尽力いただきたい旨の依頼がなされた後、資料3に基づき、正副委員長ミーティングの検討内容と委員会の議題と(合意形成)したい項目について説明がなされ、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

- 【委 員】リンク集については、各メンバーが持っている情報を集約しても良いのではないかと。
- 【委 員】書籍、文献情報は、カテゴリーや、それをどのように集めるのかを議論することが必要ではないかと。
- 【委 員】リンク集や文献情報等は、優先順位をつけて作業する方が良いのではないかと。
- 【委 員】環境報告書のガイドラインに関心がある。
- 【事務局】環境パフォーマンス評価手法検討委員会でも課題としてあがっている。委員長ミーティングで調整していきたい。
- 【委員長】用語集については、物流学界のメンバー数名でたたき台を作成し、当委員会のメンバーの意見を入れ、完成度を高めたいと他委員会メンバーにも公開していきたい。第3回委員会でデモを行いたいと考えている。
- 【委 員】環境会議の活動を行ううえでも、用語定義の重要性は高い。定義を行う優先順位をつける必要があるのではないかと。

【委員】国際動向については、まずは大使館等の出先機関から情報収集するのが良いのではないか。

以上のような意見交換が行われた後、津久井委員長より、次回委員会にて、用語集のデモを行う旨の確認がなされた。

2) その他

今後のスケジュールについて

第3回委員会は、正副委員長にて調整のうえ、開催することが確認された。

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、津久井委員長は閉会を宣した。

以上

共通基盤整備委員会の活動計画 / 第2回本会議資料

1. 活動方針

環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則として全て公開する。

2. 活動内容

- 1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。
 - ・ 行政、自治体の法制度や規制値、条例、目標値および各種インセンティブ等
 - ・ 企業の環境報告書（ホームページ・印刷物）
 - ・ 学界、団体、大学、自治体の研究
 - ・ 環境に関する書籍
- 3) 環境に関する国際動向（行政、自治体、企業の先進事例等）の調査を行う。
 - ・ 環境対応の先進諸国や日本企業が進出している中国等についても、大使館や日本の出先機関等から情報を収集、整理した後、海外調査団等による調査を検討
J I L S主催の訪欧・米調査団のミッションに上記内容を盛り込むことも検討
- 4) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。

3. アウトプット(成果)

- 1) 環境に関する用語集・・・・・・・・・・2004年4月より適宜公開
物流・ロジスティクスの視点から見た環境用語集
- 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集・・・2004年7月より適宜公開
- 3) 環境に関する国際動向の調査報告・・・・・・・・適宜実施
行政、自治体、企業の先進事例等

以 上

環境会議の目的、目標と各委員会の活動概要について

1. 環境会議の方針

- 1) 目的：循環型社会を実現するロジスティクスの構築 ～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～
2) 目標：行政・自治体・大学等の研究機関・関連団体との連携を図りながら、環境と調和したロジスティクス方針・活動を通じて、循環型社会を実現するロジスティクスの構築に取り組む企業を増やす。

2. 各委員会の活動方針と成果

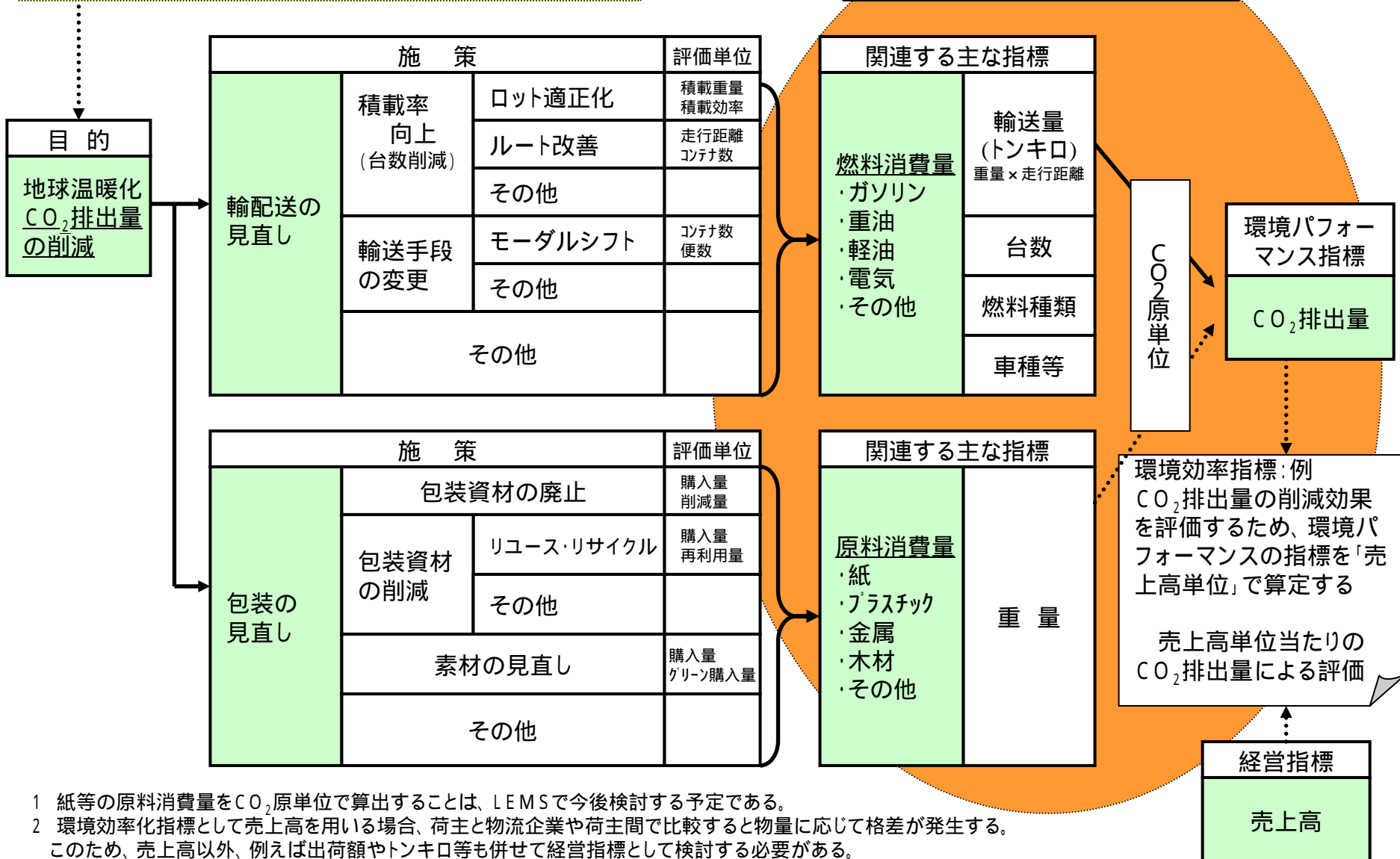
	活動方針 各委員会との共通課題	活動	成果（アウトプット）	特記事項
1) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会	1) ロジスティクス活動の環境負荷を定量的に把握、評価し、環境負荷を低減するため、荷主企業と物流企業等が相互に連携し、標準的な環境パフォーマンスを整備する。 2) 標準的な環境パフォーマンスを広く公開し、関係者に提案する。モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成 企業の環境報告書に対するガイドラインの作成	1) 標準的な環境パフォーマンスをつくり出すための枠組み(算定、評価の範囲等)を設計する。 2) 標準的な環境パフォーマンスの枠組み(算定、評価の範囲等)に基づき、環境パフォーマンスを算定および評価し、環境負荷を低減していくマニュアル等のツールを整備する。 3) 標準的な環境パフォーマンスの枠組み(算定、評価の範囲等)に基づき算定されたデータを収集し、整備する。	1) データ収集方法ガイド、事例集 2) マニュアルの作成 3) 環境パフォーマンスのデータ集 4) 提言	総量評価から削減効果
2) 源流管理による環境改善委員会	1) 循環型社会に対応する企業の社会的責任として、企業間に渡るロジスティクスの視点から荷主企業の物流・ロジスティクス部門、物流企業として実施すべき事項を検討し、合意形成を図る。 2) 合意された内容はマニュアル形式にまとめ、広く公開し、関係者の環境活動を支援する。 モデルとしてのロジスティクス・ビジネスフロー図の作成	1) 当委員会メンバーの構成を考慮し、当委員会では、物流が直接的に影響する部分（テーマ）に焦点をあてた活動を行う。 2) 荷主企業(製造業、流通業等)の物流・ロジスティクス部門、物流企業がやるべき事、および当委員会メンバー以外の企画・設計部門等に対し、製品プロセスを最適化するロジスティクスの視点から関係者に対して提案を行う。 3) 各主体間で留意すべき事項をまとめ、情報発信していく。	1) マニュアルの作成 (1)各企業が守るべきこと(法令、条例遵守事項) (2)各企業がやるべきこと及び対策(荷主企業における対他部門) (3)物流企業(運送業・倉庫業等)から荷主企業(製造業・流通業等)に提案すべき、物流サービス(環境負荷低減等) (4)主体間の留意すべきこと 2) 提言	分科会を構成 1.包装 2.輸送 3.拠点
3) 省資源ロジスティクス推進委員会	1) 省資源・省エネルギーの視点から、サプライチェーンを構成する製造業・流通業・物流業等が一体となって物流の環境負荷を低減するため、物流諸活動の事例収集を行い、その結課を関係者に公開する。 2) 課題解決のための方向性をまとめ、関係者に提案する。 省庁・自治体に対する提言の作成	1) 企業(間)の各種物流施策の事例集の作成 2) ガイドラインの作成 (1)複数企業間、業際間の各種物流施策に対する課題の整理 (2)省資源ロジスティクスを推進するための方針のまとめ (3)物流施策別の評価手法の作成（コスト・時間に環境のパラメータを加える） 3) 提言の作成	1) 企業(間)の各種物流施策の事例集 2) ガイドライン 3) 提言	分科会を構成 1.食品・流通 2.機械器具・精密機器 3.素材
4) リバースロジスティクス調査委員会	1) ロジスティクスの視点から、今後本格的に必要とされるリユース、リサイクルに関わる物流のあるべき姿を描くために調査活動を行い、その結果を公開する。 2) 消費者における還流管理の促進を含め、リバースロジスティクスの構築が可能となる環境整備を促進するため、関係者に対して提案を行う。 省庁・自治体に対する提言の作成	1) 調査報告書の作成 2) ガイドラインの作成 3) 提言の作成 4) メンバー各社の環境報告書による事例研究等の勉強会やメンバー各社、自治体活動の現場見学会の実施	1) 調査報告書 2) ガイドライン 3) 提言	分科会を構成 1.家電・OA 機器 2.自動車 3.食品 4.物流
5) 共通基盤整備委員会	環境会議及び各委員会の円滑かつ効果的な活動を支える共通的な「情報資源」を整備し、アウトプットは原則全て公開する。 企業の環境報告書に対するガイドラインの作成	1) 物流・ロジスティクスの視点から、既存の用語集等には抜けている環境に関する用語を収集し、用語集として整備する。 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等の情報を収集、整備する。 3) 企業の環境報告書に対し、物流、ロジスティクスの視点から、どのような記載をすれば良いか検討し、推奨例をまとめる。 4) 環境に関する国際動向の調査を行う。 5) 先端技術等の動向を把握し、委員会横断的なセミナーや勉強会を開催する。	1) 環境に関する用語集 2) 行政、自治体、産業界、学界、団体等のリンク集 3) 環境に関する国際動向の報告書 4) 企業の環境報告書に対するガイドライン	

環境パフォーマンス指標算定の目的と施策の関連図(例示)

参考資料3 - 2
2004.7.8

環境会議では、当面の目的として地球温暖化(CO₂排出)への対応を重点とするが、以下の項目も重要な課題であると認識している。

・大気汚染 ・天然資源の枯渇 ・焼却、埋立処理場の逼白 など



1 紙等の原料消費量をCO₂原単位で算出することは、LEMSで今後検討する予定である。

2 環境効率化指標として売上高を用いる場合、荷主と物流企業や荷主間で比較すると物量に応じて格差が発生する。

このため、売上高以外、例えば出荷額やトンキロ等も併せて経営指標として検討する必要がある。

